

# わかくさ



ベビーホームのおさんぽ  
寒い日が続きますが、暖かい日差しの中、寒さにまけずに、近くの星空広場までおさんぽしました。

## 巻頭言



施設長  
福留久美

新春を寿ぎ謹んでお喜び申し上げます。ますますご壮健のことと拝察いたします。改めまして新年のご挨拶をさせていただきます。昨年中は、若草園また子ども達のために沢山のご支援頂きまして、深く感謝申し上げます。皆様におかれましては、ご家族で楽しいお正月を過ごされました事と存じます。

「お正月」は、年神さまを家にお迎えして、新しい年の豊作と平和を祈る行事です。昔は、亡くなられた方の魂は山に行って、山の神となり、豊作や子孫繁栄をもたらす年神さまとして、お正月に子孫のもとを訪れると信じられていたようです。お年玉も、「年神さまからたましいをさずかる」という意味の「年・魂」が由来とされているそうです。

園の子ども達も、「若草園を支える会」から、全員にお年玉を頂いて、大事に貯金する子、すぐに欲しい物を買う子——性格が出ますね——それぞれですが、大変喜んでいました。支える会の皆様には、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年の冬は、「これぞ、冬!」と言った寒さですね。そのせいか、3学期が始まった子ども達は、朝の目覚めが辛く、職員は起こすのに一苦労しているようです。学習時間の少ない3学期ですが、特に中学3年生は受験を控えラストスパートです。春には笑顔で高校の門をくぐる事を願っているところです。

最後になりましたが、2017年が皆様にとって幸多き一年でありますようにお祈り申し上げます。本年度も児童養護施設若草園、児童家庭支援センターわかくさ、退所児童等アフターケアあおばを何卒宜しくご指導、ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

### 育児相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ

でんわ(0880)

33-0258

24時間365日

無料相談窓口

(通話料はかかります)





# 若草園の クリスマス

キリスト教系の養護施設として幡多地域に初めて設立された若草園は1957(昭和32)年7月に佐岡で産声をあげます。その年のクリスマス・イブには近隣の区長、児童委員を招待して集いが持たれました。翌日は高知中村教会のクリスマス礼拝に出席したと記録されています。翌年からは園主催のクリスマス祝会を持つようになり、現在に至っています。

1967(S42)年には教会のクリスマスキャロルに中学生以上が合流し、その2年後には園独自でキャロルも実施するようになり、下田近辺のお世話になってお宅の訪問をはじめました。例年、キャロルの頃は雪になることもありますが、今年は暖冬のせいか大雨となり、おそらく園の歴史で初めて、中止となりました。



←クリスマス礼拝の様子 ←園で作ったごちそう ←ホームの出し物



## 「走る!!」



この時季、マラソンや駅伝大会が多くあります。「走る」ことは単純ですが、長距離を走り抜くには体力や精神力が必要です。四万十市でも10月26日に100キロマラソンの元祖・第22回四万十川ウルトラマラソンがありました。お正月の第93回箱根駅伝や、大雪の中、京都で行われた第35回都道府県対抗女子駅伝など、走り続けるランナーの姿には感動させられます。

前回の機関誌で案内しましたオレンジリボンキャンペーンの「オレンジリボンたすきリレー」は残念ながら雨天中止となりました。若草園の児童も、12月1日の下田小学校マラソン大会をはじめとする近隣の大会に参加させていただきました。

高知県高等学校体育連盟 幡多支部駅伝大会は、四万十高校以西の大方、幡多農、中村、宿毛、宿毛工業、清水の7校で競われます。西南大規模公園の景観の良い周遊コースでした。第11回黒潮町少年駅伝大会は、佐賀中学校、明神水産前の周回コース6区7.7kmを競います。黒潮町の8小学校を中心に1チーム6名で男子の部、女子の部で分かれてスタートします。下田小からも参加して、若草園の児童も大役を務めさせていただきました。

小京都四万十ジュニア駅伝大会は毎年1月第4土曜日開催されます(今年は第6回)。四万十市中心街の天神橋商店街の周回コース6区9.1kmを男子・女子別に30チームが競います。それぞれの大会を通してランナーの根気も養われ、沿道の声援を受けてつながりも深まり、絆を感じられました。



11/16 高体連駅伝大会



12/15 下田中マラソン



1/7 黒潮町少年駅伝

児童が書いた

## 作文 コーナー



### 一番の楽しみ

下田小6年 かけっこさ私は今、駅伝の練習をしています。私は陸上が好きで三年生から中村JACで五年生の二期まで、五年生の二期から下田クラブで六年入るまでやってきました。それから陸上をやめました。そのせいか、足がしまいました。そのせいか、足がおそくなっていました。いえ陸上をやめたせいではありません。自分なりに努力していればおそくなることはなかったでしょう。駅伝によればえんの先生といっしょに下田、平野まで走っています。三年生からずっと走ることが私の一番のたのしみです。これから、Cちゃんや、Yちゃんに負けないように努力してがんばりたいです。そのために練習を休まないこともだけど、えんの先生と二人三脚でがんばりたいと思います。一番の楽しみをむだにはしたくないからね。

## 児童の帰省



若草園の児童は冬休みなど長期休日には親権者などの家庭に一時帰省します。この年末年始の帰省状況は左の一覧表の通りです。

【帰省日数】		【帰省先】	
帰省なし	3人	母宅	14人
1泊2日	6人	祖母宅	7人
2泊3日	5人	父宅	2人
3泊4日	4人	姉宅	2人
4泊5日	2人	職員宅	2人
5泊6日	6人	ファミリールーム	2人
8泊9日	5人	ホーム	1人
全期間	2人	帰省なし	3人

現在、入所児童33人のうち帰省がなかった児童は3人でした。帰省先で一番多いのは母宅で、親権者が母である児童が多い事に起因します。ファミリールームとホームとあるのは若草園のことで、児童の家族が施設の部屋にやってきて年末年始を過ごしたという内容です。

施設の運営は24時間365日体制ですが、若草園で新年を迎えた児童は8人、職員は4人でした。また、あるホームでは入居している児童全員が帰省したため、12月31日の朝から1月2日の夕方までホームを閉鎖しました。

年末年始の報道番組ではかならず帰省やUターンラッシュの話題が取り上げられていますが、若草園でも児童ひとり一人にニュースがありました。



1.21 ALTとの交流  
四万十市学校教育課の海外英語教師のみなさんが児童達とあそぶボランティア活動を続けてくださっています。今回は屋外で思いっきり遊びました。



児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、里親家庭を退所し、自立生活をしている方で困っている事はありませんか? お気軽にご相談ください。  
Tel (090)5912-1785  
専門相談員 岡崎光子  
9:00~17:00  
(緊急の場合は24時間対応します)  
<< 無料 >> (通話料はかかりません)



窓辺のひなたぼっこ  
地域交流多目的ホールはレースのカーテン越しの日差しが木漏れ日のような暖かさで、縁側のような。0歳児もハイハイしてお姉ちゃん達とあそんで追いついて「み〜つけた!!」。



11.23 いちじよこさん  
土佐一條氏の遺徳を偲んで建立された一條神社の大祭。3日間の縁日を楽しみました。



コマ回し  
独楽の種類もゼンマイ仕掛けのものなど豊富になりました。



会話が成立しはじめた2歳児オモチャを「とって来て」と話しかければ駆けだして、職員のとろこへ帰ってくるようになりました。



# ご招待を受けて

12月17日(土)、ハイクラソナー・ウィンド・アンサンブル(常任指揮者 山本工)の演奏会に子ども達も招待されました。その感想文を紹介します。

## クリスマスチャリティーコンサート

下田小2年 ベルちゃん

きょう、コンサートに行きました。はじめのきょうは、ボギー大佐、まえにようち園のときにならったときのせいじやのこうしんのきよくをひいていたのがすごいなと思いました。クラリネットやフルートやチューバやユーホニウムやトランペットやパーカッションやサククスやトロンボーンやホルンやいろいろながつきをつかっていたのがすごいなと思いました。3回目のきよくは赤はなのトナカイやクリスマスイブやジングルベルがアンコールでジングルベルがながれたので2回もうたうたのでできて、うれしかったです。がけのうえのポニョもひいていたのでいいなとおもいました。またすてきなえんそうがききたいです。さいごはじゅんこ先生とあく手できたのがうれしかったです。



のきよくは赤はなのトナカイやクリスマスイブやジングルベルがアンコールでジングルベルがながれたので2回もうたうたのでできて、うれしかったです。がけのうえのポニョもひいていたのでいいなとおもいました。またすてきなえんそうがききたいです。さいごはじゅんこ先生とあく手できたのがうれしかったです。



# 若草園に届けられた

## 数々のクリスマスプレゼント

クリスマスの前後に若草園には多くのプレゼントが届けられました。今年では雪は積りませんでした。それを予想するかのようには北海道から、冷凍宅配便で雪だるまが贈られてきました。タイガーマスクの伊達直人さんからも贈り物が届きました。

去年からNHK歳末助け合いの御支援により、ホーム単位で新年の会食を持つことができるようになりました。また、毎年継続的に地元の方々からはクリスマスケーキを、高知県市町村職員互助会からはお菓子も届けられています。ありがたいことに、日本にもたくさん



路上詩人はまじからのお菓子

### ↓札幌のNPO法人からの雪だるま



のサンタクロース的な存在が居ます。



↑楽天サンタさんもやって来た

クリスマスと元旦とは1週間の間の出来事で、お店も街も模様替えで大忙し。年末の慌ただしさに拍車をかけている。▼Xマス由来は、Xはギリシャ文字のカイであり、キリストを表している。十字架で、罪なく人の身代わりとなって死に、救いの道を開いたキリストが、西暦元年に誕生したお祝いがXマスの起源。▼世界で初めてのXマス・プレゼントは新約聖書の冒頭に記されている。東方の博士らが誕生したイエスを礼拝しにやって来た時に贈り物をしたという出来事。▼いっぽう元旦は旧約聖書の始めの方に登場する。エジプトで奴隷になっていたイスラエル民族が神の僕モーセによって聖地へ戻るようになった。その記念すべき救いの日をイスラエルの暦の元日とせよと、神がお命じになっている。その時の簡略化された食事の様子は、日本のおせち料理の発想に近い感じを受けるが、どうだろうか。▼ある寄付をして下さる方にその動機を尋ねてみた。その方は「私達が恵まれた生活をできているから、その感謝の表現として」とおっしゃった。まさに世界で初めてのXマス・プレゼントの思いを彷彿させられた。(せと



新年ホーム会食



編集後記

「あぜち食品からの寄付 何度も困難を乗り越え、操業されつつ、贈呈して下さっている。」